

物流ボックスで効率化

エーディエフ

エーディエフ（島本敏社長、大阪市西淀川区）が製造・販売を行っている物流ボックス「ダンカーゴ」は、様々な貨物の荷姿均一化・ユニットロード化を可能とし、ドライバークの荷役負担削減と積載率向上に貢献している。

一般的に使用されている樹脂製のパレットに置くだ

負担削減&積載率向上

けで囲いとフタができ、30秒ほどの短時間で組み上げることや、使用しない時は折り畳んで最大16台分を1パレットに載せられる取り回しの良さが特徴。輸送前のラップ巻きが不要となるだけでなく、2段積みが可能なため荷台のスペースを無駄なく活用できる。

防臭効果を備えたタイプ、鍵付きのセキュリティ強化タイプなど様々なバリエーションをオーダーメ

イドで提供し、輸送だけでなく、商品の保管手段としても優れる。大手パレット

レンタル業者と提携しており、販売以外にも全国300拠点でのレンタル・返却に対応する。

あらかじめ貨物をユニットロード化しておくことで、ドライバークの負担を軽減するだけでなく、輸送中の貨物同士の接触を避けられるため、貨物の破損リスクの低減、積載率向上と包装資材削減による環境配慮



荷台スペースを無駄なく活用可能

にもつながる。

使用するパレットのサイズや荷物に合わせ、ミリメートル単位の寸法とオプションのオーダーが可能。カラーバリエーションもあり、カテゴリごとに色分けして保管することでロケーション管理の補助にもなる。

エーディエフは「ダンカーゴ」を利用し、あらかじめ貨物を積み込み可能な姿で用意しておくことで、多くの現場で課題となっていた積み込み時間を大きく削減できる。また、包装資材と違って繰り返し使用可能なため、環境に優しいエシカル物流も実現できる」としている。

（蓮尾輝）